

メーカーに徹し、窓、窓リフォーム、海外建材の三事業を強化

YKK AP社長 堀 秀充氏

本誌 社名のAP（エイ・ピー）はアーキテクチュラルプロダクツの頭文字なのです。

堀 当社の建材事業はファスナー製造のYKK（当時は吉田工業）が一九五九年に建材製造に着手したのがスタートです。そして一九九〇年に建材事業の中核会社としてYKKアーキテクチュラルプロダクツが発足しました。二〇〇二年に社名変更を行い、現在のYKK APとなり、二〇〇三年にはグループ内の建材事業再編に伴い、YKKグループの建材事業を製販一体で手掛ける現体制となりました。APには建築の根幹にあるアートとテクノロジーの要素からなる、建築用工業製品という意味が込められています。ノックダウン製品を供給するサッシ事業とメーカーとして窓をつくる窓事業、さらにカーテンウォールによるファサード事業を展開しており、二〇一二年三月期の売上高は三〇八四億円にのぼっています。

従来の「サッシ」と「ガラス」の組み合わせではなく、最初から「窓」として商品開発

本誌 国内初の窓工場が完成、昨

年七月から稼働していますね。

堀 これまで窓はサッシとガラスが別々に考えられサッシ流通店で組立てられるのが一般的でしたが、当社ははじめから「窓」として開発・商品化し、窓のビジネスを創造しました。当社では、この窓事業の強化を二〇〇五年から中期経営方針に掲げ、商品や施工体制などを開発、投入するとともに、埼玉県久喜市に窓工場を建設、窓の生産を行っています。この埼玉窓工場の稼働により、窓事業のビジネスモデルを構成する要素が整いましたので、商品ブランドであるAPWの浸透を進め、窓の売上げ拡大を図ります。

本誌 二〇一〇年から窓リフォームの新店舗ブランド、MADOショップを全国で展開していますか。

堀 窓のリフォームは一般消費者に親しみのない分野でしたので、全国の建材流通店とパートナーシップを結び、直接エンドユーザーに販売するMADOショップを二〇一〇年四月に立ち上げました。このMADOショップは窓リフォームの相談から診断、提案、契約、施工、アフターサービスまでを一括して行い、窓の専門アドバイザーとして顧客にき

め細かい対応を行っています。また、同ショップ限定取扱商品として、短い施工時間で窓リフォームができるスマートカバー工法も開発しました。現在、六〇〇店以上が営業中ですが、住宅エコポイント制度により窓リフォームへの関心が高まっていることなどから当初計画以上に店舗数が拡大しており、二〇一二年度には一〇〇〇店舗の展開を目指しています。

本誌 福島原発事故による電気使用の制限などから節電商品へのニーズが高まり、窓も注目されていますね。

堀 住宅の窓からは夏場は多くの熱が流入し、冬場は多くの熱が流出します。そのため、節電など省エネルギー推進と温室効果ガス排出量削減に向けて、窓の断熱性能と遮熱性能の向上が求められ、政府は住宅エコポイントなどで窓の断熱性向上を促進していましたが、さらに電力不足への懸念から節電意識が高まり、断熱性能の高い当社の窓への関心も高まっています。欧米では新築住宅より中古住宅の流通が圧倒的に多く、窓の取替えも一般的で、今後、日本でも窓市場の成長が見込まれますので、MADOショップを核に窓リフ



堀秀充（ほり・ひでみつ）氏

1957年生まれ。福岡県出身。1981年・慶応義塾大学経済学部卒業。同年・吉田工業（現YKK）入社。1989年・YKK USA社に赴任、管理マネージャー。2000年YKKコーポレーション オブ アメリカ シニアバイスプレジデント（経営企画担当）。2006年・YKK AP経営企画室長。2009年・取締役上席常務事業本部長。2011年・代表取締役社長に就任。

米国など海外八カ国・
地域で建材事業を展開

本誌 昨年一二月にマレーシアに現地法人を設立しましたが。

堀 海外建材事業拡大の一環として、クアラルンプールにYKK AP Pマレーシア社を設立、事業を開始しました。同社はマレーシア国内の戸建・集合住宅向けに日本の技術に

ホームの拡大を図ります。また、一般消費者向け商品は女性の視点からの開発が重要ですので、女性社員の登用も進めていきたいと思っています。

よる高品質の窓やドアを供給します。一九七六年のYKK・インダストリーズ・シンガポール社（現YKK APシンガポール社）設立に始まった当社の海外建材事業は、このマレーシア社設立により台湾、中国香港、インドネシア、米国、ブラジル、シンガポール、マレーシアの八カ国・地域、一二社になりました。当社の建材商品は中国不動産協会加盟デベロッパ五〇〇社が選ぶ「採用したい建材ブランド表彰」窓部門第一位を受賞するなどアジアでも高く評価されています。また、当社はその国・地域でつくったものは、そ

の土地で使われることを基本としており、今後も各地の気候や風土に適し、現地の人々が求める商品を提供、売上げ増を図るとともに、展開エリアの拡大も進めます。

本誌 グローバルファサード事業の本格展開も進めていますね。

堀 ファサード事業の本部機能を担う中核会社として、二〇〇八年一月にYKK APファサード社をシンガポールに設立、日本、シンガポール、香港に拠点を持ち、営業活動を行っています。また、同事業では超高層、高難度物件に特化して展開しており、最近では今年五月に開業

する東京スカイツリーの第一展望台、第二展望台および空中回廊、エレベーターシャフトのガラスカーテンウォールを施工しました。この分野は年間約三六〇億円の世界市場があり、今後さらにエンジンリアリング力を高め、世界から指名されるグローバルブランドを目指していきます。

本誌 二〇〇九年度からの第三次中期経営計画の最終年度である二〇一二年度は営業利益一八九億円の実現を目指していますが。

堀 経営企画室長として第三次中期経営計画の策定に携わりましたが、計画を立案した二〇〇八年後半には予想もなかった事業環境になっています。このため、窓事業、窓リフォーム事業、海外建材事業の三事業なかでも窓リフォーム事業の強化を重要ポイントとして位置付け、売上の拡大を図るとともに、生産ラインの改善、物流改革などの効率化によるコスト削減を進めています。当社は「メーカーに徹する」を目指したい会社像としており、品質にこだわり続けるメーカーとしてモノづくりを行い、新たな商品やサービスを創りだし、目標達成に全力を注いでいきます。